

コア・フェスタ 2018

今年も恒例のコア・フェスタが 10 月 27 日 (土)、28 日 (日) の 2 日間ベイタウン・コアで行われました。コア・フェスタは毎年参加団体が増え来場者が飛躍的に伸びています。今年は天候にも恵まれ、来場者数が新記録を出した昨年よりよりも更に増加して約 2,400 人が来場しました。コンサートやダンス、お茶席、さらに写真、水彩など普段コアを利用するサークルの発表会に加えて、フリーマーケットやこども将棋大会など楽しい企画も加えてベイタウン秋の文化祭として定着しています。【松村】

コア前のウッドデッキで開かれたフリーマーケット。これまであまり使われなかったウッドデッキ部分が有効に使えるようになった新しい試み。



動線の見直しでアトリウムの渋滞解消

コア・フェスタは毎年参加する団体が増え最近ではアトリウムの混雑が問題になっていました。今年は動線を考えてコア前面のウッドデッキ部分でフリーマーケットを開催したところ、アトリウムに集中していた人の流れが分散され、展示物の鑑賞やワークショップもゆっくりとできるようになりました。

ワンコインでイメージ Up

昨年からはまった子ども向けの「ワンコインで女子力 Up」コーナー。プロの美容師さんとフェイスペインターが僅か 100 円のワンコインでオシャレなベイタウンの子ども達をメイクアップ。昨年の好評を受けて今年も口コミで広がり、こどもだけでなく、熟年女子や孫を連れのお爺ちゃんまでが来店していました。

ワークショップ

フェスタではサークル毎に紹介や体験のワークショップが開かれていました。写真は「アルバムのかい」が開いたワークショップ。実際にやってみることで会の様子が分かり、そのまま入会というケースもあるようです。

こどもさいくる リサイクル



コアフェスタで行われる「こどもさいくる リサイクル」は今年で 2 回目です。昨年は 19 台のこども用自転車のリサイクルしましたが、今年はさらなる台数の増加を願って予約制で受け付けるなど工夫を凝らした結果、26 台の自転車をリサイクルすることができました。

抽選に当選し、新しい自転車を受け取って手続きする子どもたちの嬉しそうな顔は、このイベントを行った実行委員のみなさんの来年への大きな意欲となったでしょう。来年もがんばろう。



展示された自転車からお気に入りに一台を選ぶ子ども。



(左上) 希望していた自転車が当選し大喜びで手続きに向かう。(上) 抽選会前。200 人ほどの親子が集まった(左) サイズごとに展示された自転車の 1 部。

子ども記者が伝える

今僕の学校では…

打瀬小学校 6 年生

No.26
打瀬小学校編

今月は打瀬小 6 年生の 4 人に「ベイタウンの秋」のタイトルで書いてもらいました。

ベイタウンの変化

【6 年 2 組 齋藤 由奈】

ベイタウンにも秋がやって来ました。街の中を冷たい風が吹き抜けるようになり、葉は紅葉し始めました。空に雲がない夜は、月がとてもきれいに光っています。

わたしが秋が来たなと感じたのは、紅葉です。今年は台風で葉が落ちてしまいましたが、残った葉はきれいに色づき始めました。学校の登下校などで、ベイタウンの街の中を歩いていると、もうすぐ木全体がきれいな色に色づきそうだなと思う木がたくさんありました。学校ではもう落ち葉はきが始まっています。

また、風も変わったなと思います。九月の始めはとても気持ちが良い風でしたが、今では凍えそうなほど寒い朝もあります。街を歩いている人を見てみると、手袋やマフラー、耳当てなどをつけている人も増えてきました。

みなさんも、秋を感じるものを探してみてください。

かわりゆく 自然

【6 年 3 組 佐藤駿介】

夏が過ぎ、暦の上でも秋へと移り変わるこの季節。体でも秋を感じる場面が増えてきました。

例えば、教室の横にあるベランダのアキ

ニレの木の葉が、緑から赤、そして黄色にまでなり、落ちていきました。その葉が風に乗って教室まで入ってくると、ああ、秋が来たなあと感じます。

僕がベイタウンで感じた秋は、他にもあります。それは、トンボが自宅のベランダにきた事でした。夕日の角度が低くなり、日が差し込んだりリビングから見ると、羽は金色に輝き、とてもきれいな光景でした。そして、近くに行ってみると、しっぽの部分を真っ赤に染めていて、赤とんぼだと分かりました。

これらのことから、僕は秋の訪れを感じました。秋は、きれいな光景を見せてくれる季節でもあると思いました。

秋が来るたびに

【6 年 1 組 柳原 愛里香】

わたしはこの街の秋を通学路で感じた。空気が違うのだ。夏の生温かい空気から、からっとした冷たい空気になっている。夏のままの木々の緑とピンと張りつめた冬の空気から少しの秋を感じた。夏と冬が混じり合ったこの季節。夏と冬の間に秋はおりなされていくのだと思った。気付けば、日が落ちるのが早くなった。いつもなら明るい夕暮れ時も、濃い青色の空へと変っていた。そして、その奥に見えるピンクや黄色の夕焼けがきれいだった。

ステージではマジックショーや地元で活動するフラダンス、新体操、ダンスのチームが演技を披露し、秋の休日を楽しみました。

打瀬中「音魂祭」終わる

今年も打瀬中恒例の「音魂祭」が 10 月 27 日（土）、千葉県文化会館で開かれました。ベイタウンニュースでは毎年このイベントを取材してきましたが、残念ながら今年は締め切り日の関係で当日の模様を先月号に掲載することができませんでした。

毎年上達する打瀬中の合唱の模様をお知らせできなかったのは残念ですが、今月号で 2018 年度音魂祭の審査結果のみお知らせします。

1 年生

最優秀賞：E 組「旅立ちの時～Asian Dream Song～」

優秀賞：G 組「あなたへ～旅立ちに寄せるメッセージ～」

優良賞：A 組「心の瞳」

指揮者賞：齋藤茉音、高橋由衣

また、暗くなると虫たちが鳴きだした。一見、大合唱のようで素敵だが、その虫の声はどこか切ない感じがして、心がゆさぶられる。

通りの木の葉が紅葉して落ちている。ベイタウンに秋らしい秋がやってきた。

読書の秋

【6 年 3 組 森山 陽仁】

紅葉が過ぎて、葉も落ちてきた十一月。街の図書館「コア」では、たくさんの人が読書に親しんでいました。秋の季語に「読書の秋」がありますが、コアに来た人たちはいつでも読書に熱中しています。そんな中、打瀬小学校では「読書週間」という図書委員会の取り組みが始まりました。読んだ本を書いていき、どれだけ本を読むことができたかを自分自身で振り返ります。続ければ続けるだけ、本を読んだ証、さらには誇りになると僕は思っています。

このように涼しく、風当たりの良い秋は最も読書に適しているため、ベイタウンの人々も読書に熱中している人が多いでしょう。もちろん、食欲の秋、スポーツの秋という人もいると思います。それぞれの方法で秋を過ごしていることが良いなと思います。僕はもちろん、「読書の秋」です。



2 年生

最優秀賞：A 組「虹」

優秀賞：D 組「信じる」

優良賞：E 組「聞こえる」

優良賞：F 組「LOVING YOU」

指揮者賞：佐々木詩音、上浦瑞美

3 年生

最優秀賞：H 組「サクラ色」

優秀賞：G 組「海の匂い」

優良賞：A 組「ほらね、」

優良賞：B 組「青い鳥」

指揮者賞：伊澤亜弥、樋口智大



ようこそ先輩 打瀬中 EX 講座

ベイタウンの大人が打瀬中で講座を開く打瀬中伝統の EX 講座。今年ベイタウンニュースではベイタウンで建築設計事務所を開いている加治史子さんをゲストに迎え、打瀬中でお話しをしてもらいました。さらに生徒たちには加治さんにインタビューをして記事を書いてもらいます。

実は加治さんは打瀬中の第一期の1年生。自分達の先輩の話が聞けるとあって中学生たちは興味津々。中学時代のこと、職業選択のことなど盛んに質問していました。【松村】

今回この講座を選んだのは1年生20人。授業では5人1組で4つの班を作り、それぞれの班で加治さんに聞きたいテーマを絞ってインタビューをしました。中学生達は本物の記者よろしく、質問者3人、カメラマン2人という分担でインタビューし、終わったら全員が記事を書いて、最後に各



班で記事を1本だけ選ぶという内容で授業を行いました。

これだけの内容を3日間、5コマの時間で行うので少し欲張った内容でしたが、中学生たちはとても熱心に授業を受けてくれました。特にインタビューでは加治さんが中学時代にどんなことを考え、何に力を入れて取り組んだかなどに多く質問が寄せられていました。2年後に自分達が迎える進路選択のことや、部活への取り組みなどは1年生の彼らにも最大の関心事のようです。

加治さんは自分の経験が中学生達に役立つならとゲスト講師を引き受けてくれましたが、講座修了後、自分以外にも様々な職



業や経験をしている卒業生がいるので、シリーズでいろんな人の話を聞ける講座にしてはどうかという提案がありました。

地域の大人が専門知識や技術だけでなく体験や考え方を子ども達に伝えるのが EX 講座。こんな企画が実現できるシステムがベイタウンの教育力を高めるのでしょう。

下記は今回の講座で書かれた中学生たちの記事です。班ごとに1本だけの記事ですが、全員の記事をニュースの FaceBook ページに掲載しています。

<https://www.facebook.com/BaytownNews?ref=hl>

昔のベイタウン、知っていますか？

自分達が今当たり前のように住んでいるベイタウンの昔は、いったいどんな街だったのか、皆さんは知っていますか？約20年前にできたベイタウンですが、当時はマンションが6棟しかなく、中学校の全校生徒もおよそ50人ほどしかいなかったそうです。今はマンションも増え、およそ2万6千人ほどの人がベイタウンに住んでいます。昔はとても不便で近くには何もありませんでした、海がとてもきれいに見えたそうです。他にも、コアの前に「かるがも館」という地域の交流の場があり、私はこのかるがも館が今のベイタウンにあったら、街の人からどんな場所になっているのか気になりました。

これを聞いて、私はベイタウンがとても発展したと思ったり、昔のベイタウンをもっと知りたいと思っただけでなく、他の街の今と昔の移り変わりを知りたいな、と興味湧いてきたので、ぜひ調べてみたいと思いました。

1-D 松元優花

部活のこと、進路のこと

今回、EX 講座にて、加治さんに貴重なお話しを聞かせてもらいました。

加治さんは打瀬中の第一期生、私たちの先輩です。部活は私と同じソフトテニス部で、親近感が湧きました。部員はとても少なかったようで、一年生から試合に出ることができたそうです。今は試合に出るのが難しく、少しうらやましかったです。加治さんは部活に熱心に取り組んでいて、ここまで本気でやったものはないというほど部活を一生懸命に頑張っていたそうです。

僕は、不安な高校受験や進路のことを聞きました。

加治さんは、進路について、早くから考えて、いろいろ知っておいた方が良くと思うと言っていました。僕は話を聞いて、とても参考になるなと思いました。

加治さんに聞いた、とても参考になるお話しを糧にして、これから頑張っていきたいです。

1-G 内山 裕貴

ベイタウンと打瀬中の今と昔

『みなさんはベイタウンの良い所はどこだと思いますか』また『ベイタウンの今と昔の違いを知っていますか？』

「EX 講座」をきっかけにベイタウンのことをたくさん学んだ。ベイタウンに初めにあったのは、打瀬中と打瀬小、1～6番街だ。これを聞くと少しさびしい気もするがその反面、どこからでも海が見えるという良い点もあったそうだ。この当時の打瀬中の全校生徒は56人で運動会は小学校と合同で行っていたと聞いた。他にも、人数が少ない分ホームベースの数、第2グラウンドはなかったが、不自由はしなかったと話していた。これを聞いて今は、教室移動も大勢でぶつかり合うこともあり大変だが、初めの方は移動もスムーズだったと思うので少し「いいな」と感じた。しかし、塾などの習い事は遠くまで行かないとなかったため大変だったと聞いた。これをふまえてベイタウンには一長一短があることが分かった。地域の活動に積極的に参加し、ベイタウンをよりよいものにしていきたい。

1-C 吉澤美咲

進路を決めるにあたって

私は将来の夢を明確に持ったことがありません。それは悪いことだとは思いませんが、将来をもう決めている友達や、今年3年生が進路を悩んでいることもあり、少し不安に感じています。そこで今回は、加治さんに「進路」というテーマでインタビューをしました。

加治さんは建築家です。進路を定めたのは高校2年生の時に、当時の担任に「1から建築を学んでみたら」とすすめられたのがきっかけだそうです。進路を決めるときに大切なことを聞いてみると、「少しでも多くの仕事を知り、将来の選択肢を広げること、そしてプラス思考でいることが大切」とのことでした。

私はこれまで、進路は早く決めることが大切だと思っていましたが、加治さんの話を聞いて、選択肢を広げ、前向きに考えることが大切だと思いました。これから私が進路を決めるときは、このことを意識して考えていきたいです。

1-C 秋山文



つどい～まなび～つなぐ ベイタウン・コア/公民館通信

～毎月のコアでのイベントや公民館主催の講座情報を館長がお伝えします～

【12月のコア・イベントの紹介】～申し込み受付中！

「大正琴体験教室&ミニコンサート」受付中～

実施日 12月12日（水）13：00～15：00

打瀬公民館講習室

講師：大正琴琴江会の皆さん

対象：成人（定員：先着10名）

受講料：無料

内容：大正琴の演奏と体験

申し込み受付中～

◇講座申し込みの方法

直接公民館窓口または電話で

〈問い合わせ〉打瀬公民館 電話 296-5100

受付、問い合わせ時間は9：00～17：00

【年末年始の休館日】12月29日（土）～1月3日（木）



冬のアトリウムコンサート

今回は日本の伝統文化の調べに触れるコンサートを企画してみました。

実施日：12月8日（土）14：00～15：00

打瀬公民館アトリウム特設ステージ（入場無料）

出演者

◇箏曲演奏高良七海さん（海浜打瀬小6年生）

2018年全国小中学生箏曲コンクール金賞受賞

◇津軽三味線と民謡／丸山会：丸山喜久雄先生他

第33回ベイタウンウィンターコンサート

12月16日（日）10時開演

ベイタウンのコアホールに美しい歌声、ピアノ、バイオリン、吹奏楽など素敵な演奏と笑顔が溢れる一日です。どうぞ一緒に楽しみましょう。

よろしくお願い致します。

わくわくおはなし会 12月のおはなし会

日時：12月15日 第3土曜日 午前10：30～

場所：ベイタウン・コア講習室

今月はクリスマススペシャル！わくわくするお話を用意してお待ちしています。

年齢制限はありません。絵本の好きな大人も子どももぜひきてね！

絵本の好きな大人も子どももぜひきてね！

予約は不要です。読み手も募集中、見学大歓迎

ブログ更新中・見てね <http://blog.livedoor.jp/chibawaku/>

12月22日（土）寺子屋工作ランド

よく鳴る「でんでんだいこ」

日時：12月22日 第4土曜日 午前9：30～11：30

場所：ベイタウン・コア工芸室

今月はよく鳴る「でんでんだいこ」をつくります。

持ってくるもの：よく切れるはさみ、セロテープ、

ビニールテープ（ある人） 保険費 50円

参加費：50円（保険料）

ベイタウンニュースの配布をお手伝いください

ベイタウンニュースの配布をしていただく方が足りなくて大変困っています。お時間のある方でベイタウンニュースの配布にご協力いただける方はご連絡をください。毎月確実に参加できなくても結構です。どうぞよろしくお願いします。

TEL：043-211-6853、E-mail：mazmbtn@gmail.com（松村）

館長イチ押し！主催講座

1月の主催講座紹介！

1月には前回も好評でした「シニア向けのスマホ教室」を実施いたします。問い合わせも多く、すぐに定員に達してしまう、館長イチ押しの講座です。1月4日（金）からの受付です。市政だよりでもお知らせいたします。

◇講座内容

「シニア向けスマホ教室」

実施日 1月30日（水）

14：00～16：00

打瀬公民館講習室

講師：KDDI ケータイ・スマホ教室講師

対象：60歳以上でスマホ初心者（定員：先着20名）

受講料：無料

◇申し込みの方法受付開始 1月4日（金）9：00～

直接打瀬公民館窓口または電話で

〈問い合わせ〉打瀬公民館電話 296-5100

受付、問い合わせ時間は9：00～17：00



冬のコア花壇の手入れ

コア正面入口のコア花壇の手入れが行われ、冬の花の彩りがきれいです。コアの開設当時から、最初の花壇づくりから長らく草木の世話、自治会の役員でいらした小畑さんとそのお友だちやお仲間がボランティアで実施して



てきました。年2回の花の苗の植え付け、春から夏にかけては鮮やかな彩りのサルビアや夏の花のアサガオやヒマワリというように、コアに四季の花がきれいに咲きそろう。また、コアの中庭や周辺の雑草の草刈り作業、落ち葉・伸びた木の枝



の処理などにもご協力いただいています。公民館として大変感謝しています。コア花壇の手入れのお手伝いも募集していますので、ご協力いただける方は事務室まで声をお掛けください。（館長）

ベイタウンニュース恒例 「年男年女撮影会」

ベイタウンニュース年末の恒例行事、「新年 年男年女撮影会」を行います。2019年の干支は「亥」（イノシシ）です。12年に1度のベイタウンニュース新年号を飾るチャンスです。たくさんの方の参加をお待ちしています。

日時：2018年12月22日（土） 午前10：00～

場所：ベイタウン・コア アトリウムに集合

当日雨の場合はコアのアトリウム内で撮影します。

問い合わせ：ベイタウンニュース 松村（TEL：211-6853）